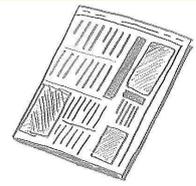
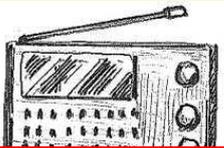


情報化した社会と私たちの生活	( )組	氏
	( )番	名

なおみさんたちのクラスでは、「情報産業としての新聞社の働き」について学習した後、「どう生かす、情報ネットワーク」というまとめの授業が行われました。

まず最初に、グループごとに「新聞」、「テレビ」、「インターネット」、「ラジオ」の4つのメディアを比かくして、それぞれの持ちちょうを話し合ってまとめることになりました。

【資料1 なおみさんがまとめたノート】

<p><b>新聞</b></p>  <p>◆持ち歩いて読んだり、記事を切りぬいて保そんしたりできる。</p> <p>◆ [ ① ]</p>	<p><b>テレビ</b></p>  <p>◆大切な情報を、すばやく多くの人に伝えることができる。</p> <p>◆ [ ② ]</p>
<p><b>インターネット</b></p>  <p>◆自分が必要なときにいつでも情報を得ることができる。</p> <p>◆ [ ③ ]</p>	<p><b>ラジオ</b></p>  <p>◆音声の情報なので、料理や農作業をしながらでも聞ける。</p> <p>◆ [ ④ ]</p>

これらのメディアの特色を比べてみましょう。 **新聞、テレビ、インターネットの持ちちょうをよく考えて、ア～ウを判断しましょう。**

(1) 資料1の [ ① ] ~ [ ③ ] に最もふさわしい特色を、ア～ウの中からそれぞれ1つずつ選んで、記号を書きましょう。

- ア 知りたい情報を検さくしてとり出すことができる。
- イ 文字や写真を何度でも読み返すことができる。
- ウ 映像によって実際の様子を見ることができる。

①	イ
②	ウ
③	ア

(2) なおみさんたちは、【 ④ 】のラジオの特色がなかなか思いつかないので、先生に質問をして、次のような会話をしました。会話文中の、先生やたくやさんの発言を参考にしながら、解答らんの書き出しにそって、災害時におけるラジオの特色を考えて書きましょう。

【先生との会話】

なおみ： 先生、ラジオの特色が思いつかないのですが

先生： ヒントを出し、**メディアには、それぞれの持ちちょうや良さがありますが、中でもラジオには、新聞やテレビ、インターネットにはない便利** や

たくや： 分かったぞ。**なところがあることに気付くことが大切です。** 場

ではテレビも新聞も見れなかったし、お母さんは、**電池が切れてこまっていたのを思い出したよ。**

例えば、災害で高いところにひなんした場合には、**電源がなければ、テレビは使えず、パソコンやけい帯電話もバッテリーが切れると使えない。また、新聞も配達されない。**

**ラジオは電波の届くところであれば情報が得られるし、電池があれば電源がなくても使える。**

次になおみさんたちは、先生の用意した「土砂災害」のえい像を見た後、「大雨が続いて土砂災害のき険があるのでひなんの指示がでたとき、全員が無事にひなんするにはどのような情報と行動が必要か」について話し合い、そこで出た意見を次のA～Fの6つのカードにまとめました。そして最後に、先生が黒板に下の表をつくって、6つのカードを「自助」、「共助」、「公助」という3種類に分け、考えをまとめていきました。

### カードA

雨の量や天気などの気象情報を分せきし、き険があれば防災無線やパトロールをしてひなんをよびかける。

### カードB

大雨が続いているときなどは、見たいテレビがなくてもテレビをつけておき、必要な情報がえられるようにしておく。

### カードC

定期的に、地区の住民によるひなんくん練を行い、ひなん場所を確にんしておく。

### カードD

外に出でていて情報がえられない時は、自分のはんだんで、日ごろから家族で決めておいた場所へひなんする。

### カードE

ひなん指示が出てひなんをするときは、近所の高れい者にも声をかけて、いっしょにひなんする。

### カードF

土砂災害のけい報やひなんのよびかけを、テレビやラジオで報道したり、インターネットで配信したりする。

- (3) 上の6つのカードを記号A～Fで、下の表の「(3) カード分け」の欄にそれぞれ書き  
 (4) 共助の例を参考にしながら「自助」「共助」「公助」のそれぞれの意味を考えた上で、カードに書かれている内容をしっかりと読み取り、分類していく力が必要です。

分類	自助	共助	公助
(3) カード分け	B、D	C、E	A、F
(4) 言葉の意味	(例) 自分の命は自分で守ること。 個人が行う災害へのそなえや行動。	(例) 近所の人がおたがいに助け合うこと。 となり近所や地区などによる自主的な災害へのそなえ。	(例) 国や県、市町村が行う、さい害へのそなえやえん助など